

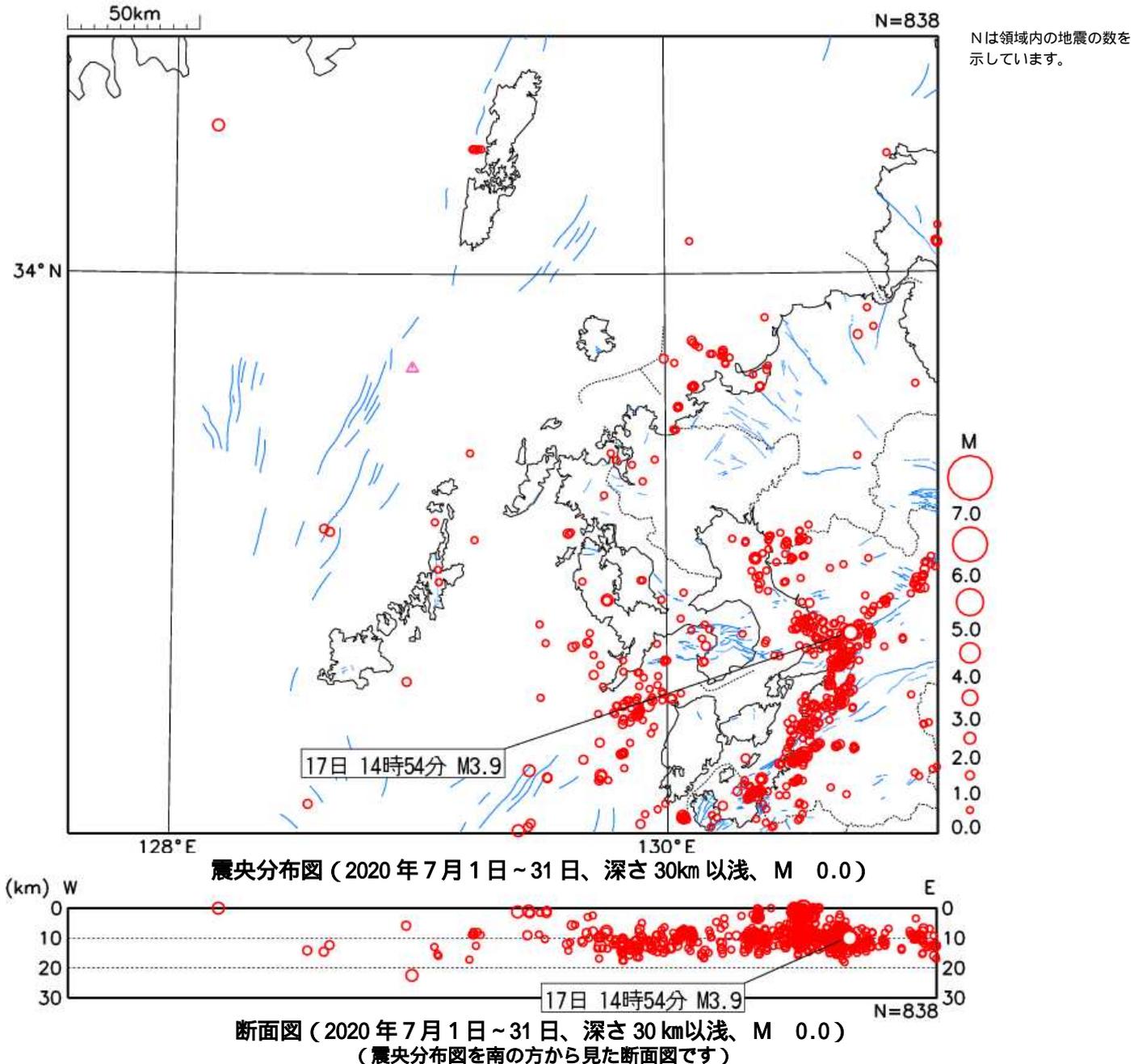
# 長崎県の地震活動概況 ( 2020 年 7 月 )

令和 2 年 8 月 11 日

長崎地方気象台

## 地震活動の概況 ( 2020 年 7 月 )

7 月に長崎県内で震度 1 以上を観測した地震は 1 回でした ( 6 月 : 3 回 )。詳細は次ページのとおりです。



本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す ( 活断層のデータは新編日本の活断層による )。  
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 ( 河原、熊野座 )、米国大学間地震学研究連合 ( IRIS ) の観測点 ( 台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東 ) のデータを用いて作成しています。  
2020 年 4 月 18 日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震での震源決定数の変化 ( 減少等 ) がみられることがあります。

### 熊本県熊本地方

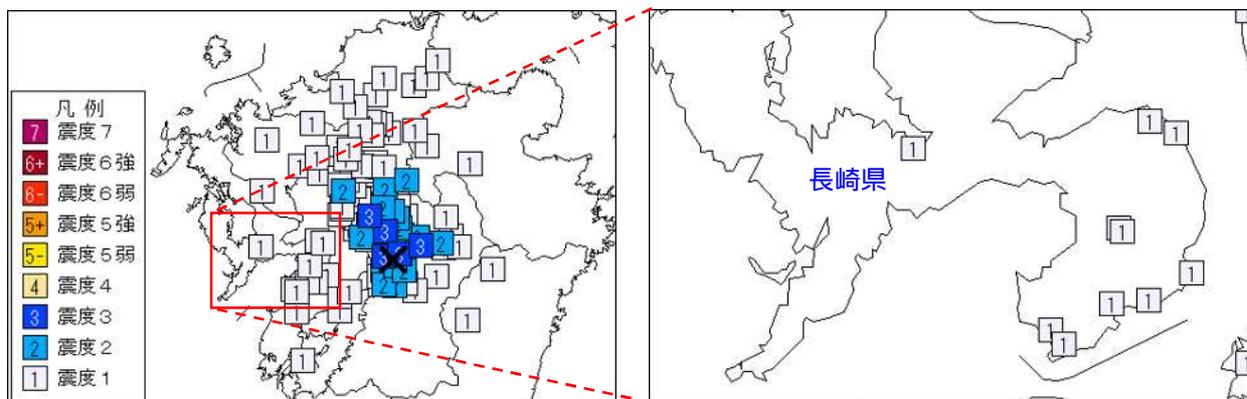
17日 14時 54分に熊本県熊本地方で発生した M3.9の地震(深さ 10 km)により、熊本県で震度3を観測したほか、九州地方で震度2～1を観測しました。長崎県では、諫早市、島原市、雲仙市および南島原市で震度1を観測しました(図1)。

今回の地震は、「平成28年(2016年)熊本地震」の活動域内で発生した地震です。

「平成28年(2016年)熊本地震」に関しては、以下の気象庁ホームページを参照ください。

気象庁(熊本地震特設ページ)

[https://www.jma.go.jp/jma/menu/h28\\_kumamoto\\_jishin\\_menu.html](https://www.jma.go.jp/jma/menu/h28_kumamoto_jishin_menu.html)



7月17日 14時54分 M3.9  
図1 震度分布図(観測点別、×:震央)

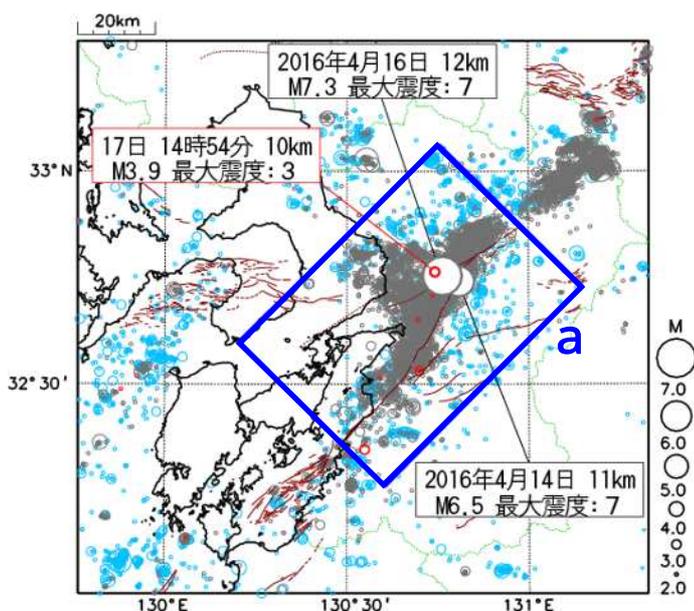


図2 震央分布図

(1997年10月1日～2020年7月31日 深さ0km～20km M 2.0)

2016年4月13日以前の地震を青色で、

2016年4月14日以降の地震を灰色で

2020年7月の地震を赤色で表示

図中の茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

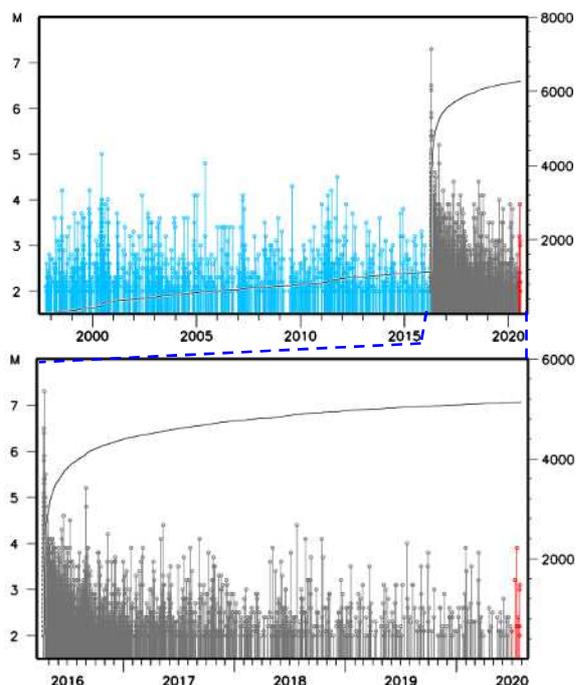


図3 図2領域a内の地震活動経過図及び回数積算図

(上段:1997年10月1日～2020年7月31日、  
下段:2016年4月14日～2020年7月31日)

## 長崎県内で震度 1 以上を観測した地震の表 ( 7 月 1 日 ~ 31 日 )

地震発生時刻 各地の震度	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2020 年 07 月 17 日 14 時 54 分 震度 1 :	熊本県熊本地方	32° 45.8' N	130° 44.5' E	10km	M3.9
	諫早市多良見町* , 島原市有明町* , 雲仙市国見町 , 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市雲仙出張所* , 南島原市口之津町* , 南島原市北有馬町* 南島原市西有家町* , 南島原市布津町* , 南島原市加津佐町*				

注) 震源要素 (緯度・経度・深さ・M) は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。  
\*を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

## 「防災の日」と「防災週間」

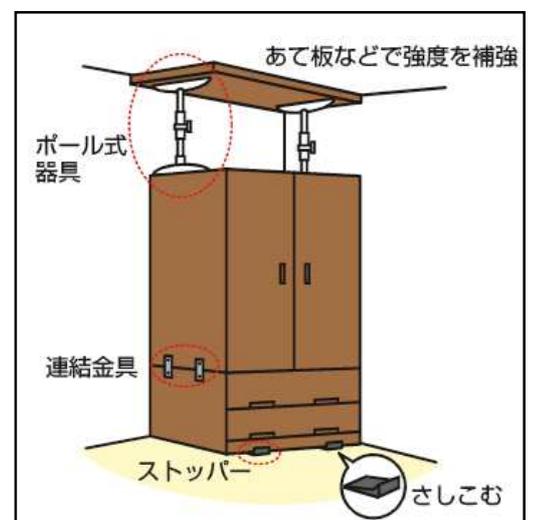
～いつかくる災害に備えて～

毎年、9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」です。

本期間は、国や防災関係機関をはじめ、広く住民の方が地震、津波等の災害への理解を深める目的で設けられています。この機会に、身近で起こり得る災害を再確認するとともに、感染症対策も考慮しながら日頃からの備えや大きな地震が起こった時のとるべき行動を確認するようにしましょう。

### 日頃からの備え

日頃からの地震への備えには、『家具の固定や配置の見直し』、『水や食料・生活用品の備蓄』、『建物の耐震診断や耐震化』などがあります。近年の大きな地震の際には、多くの人々が家具の転倒によりケガなどを行っています。右の図を参考に家具を固定しましょう。また、寝室に重い家具を置かないなど、配置にも気を配りましょう。大きな地震が発生した時は、電気・水道・ガスなどのライフラインが停止することがありますので、水や食料品などを備蓄しておきましょう。建物の耐震診断などは市町村の窓口へ相談しましょう。



みんなで減災（内閣府パンフレット）より

### とるべき行動

緊急地震速報を見聞きした場合や地震による強い揺れを感じた時の具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

#### 家庭では



- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外に飛び出さない
- 無理に火を消そうとしない

#### 人が大勢いる施設では



- 施設の係員の指示に従い、落ち着いて行動し、あわてて出口に走り出さない

#### 屋外（街）では



- ブロック塀の倒壊等に注意する
- 看板や割れたガラスの落下に注意する

### いざという時の行動例

その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/koudou/koudou.html>